

# 学認が支える学術基盤の 「信頼」

坂根 栄作

国立情報学研究所

AXIES 2019

2019/12/12

# 学認の歩み

「学術認証フェデレーション」という枠組み

FY2008 実証実験開始

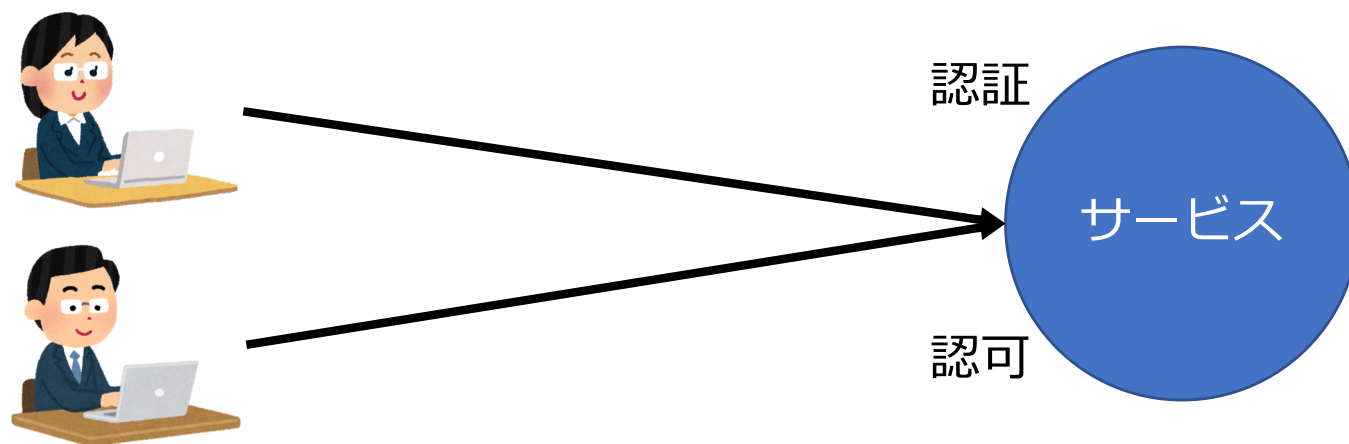
FY2009 試行運用開始

2014/1 NII 事業化

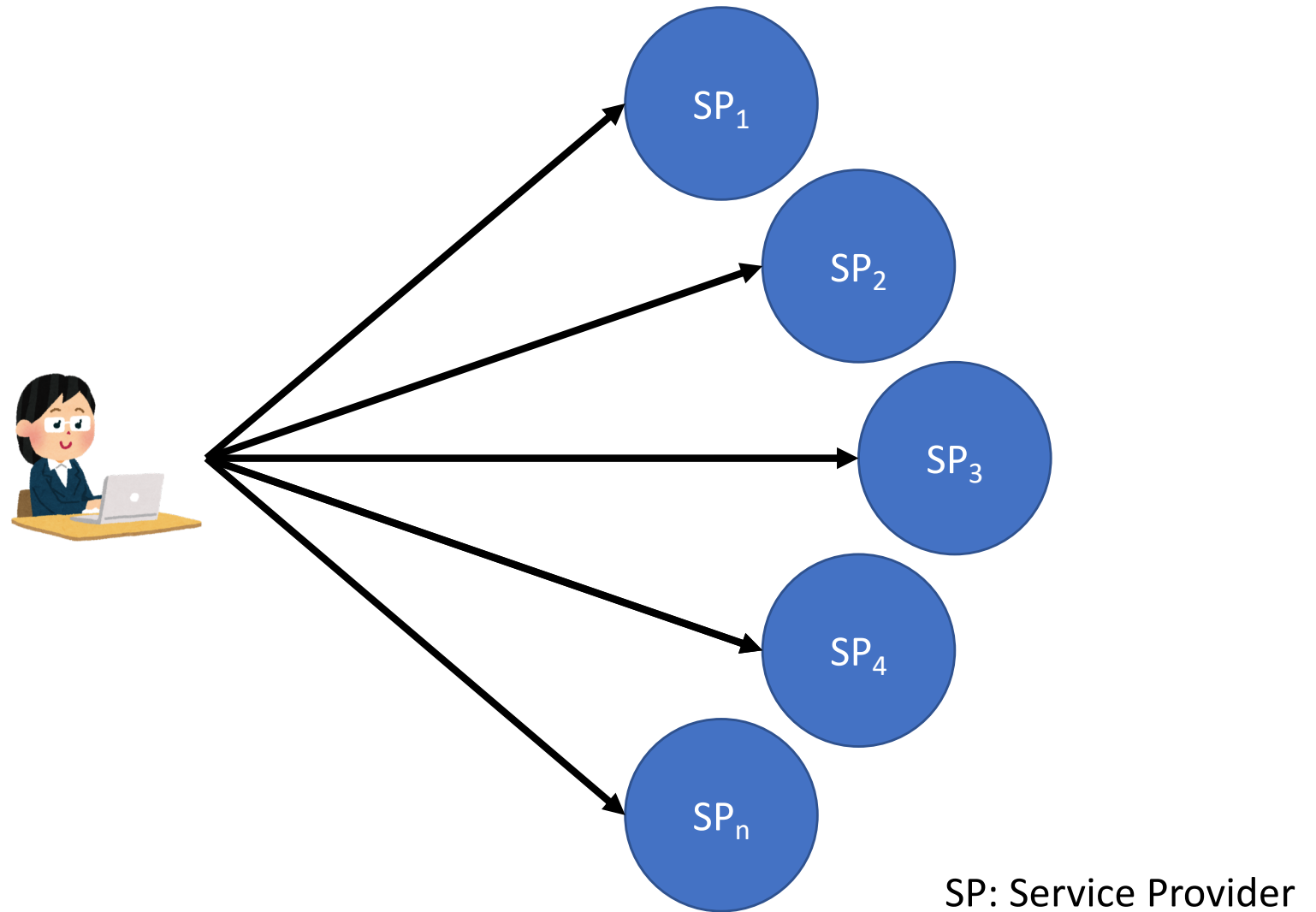
# 学認とは

- 学術認証フェデレーション
  - 学術向けオンラインサービスを利用する大学・研究機関、サービスを提供する機関・事業者等から構成された連合体
  - 2019/12 現在、IdP: 228, SP: 166
- 目的
  - 学術 e-リソースを利用する研究・教育活動の活性化

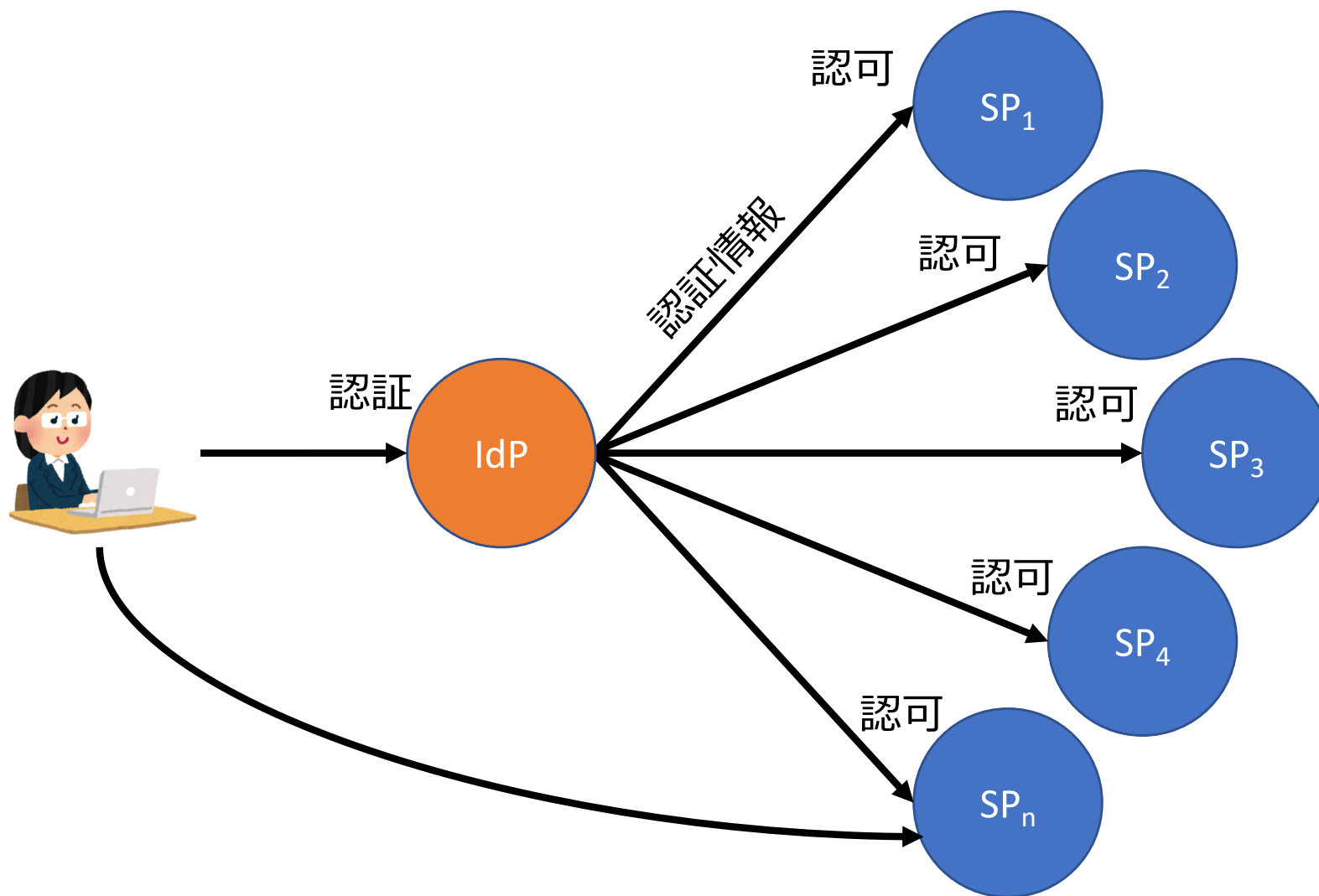
# 認証認可分離前



# 認証認可分離前

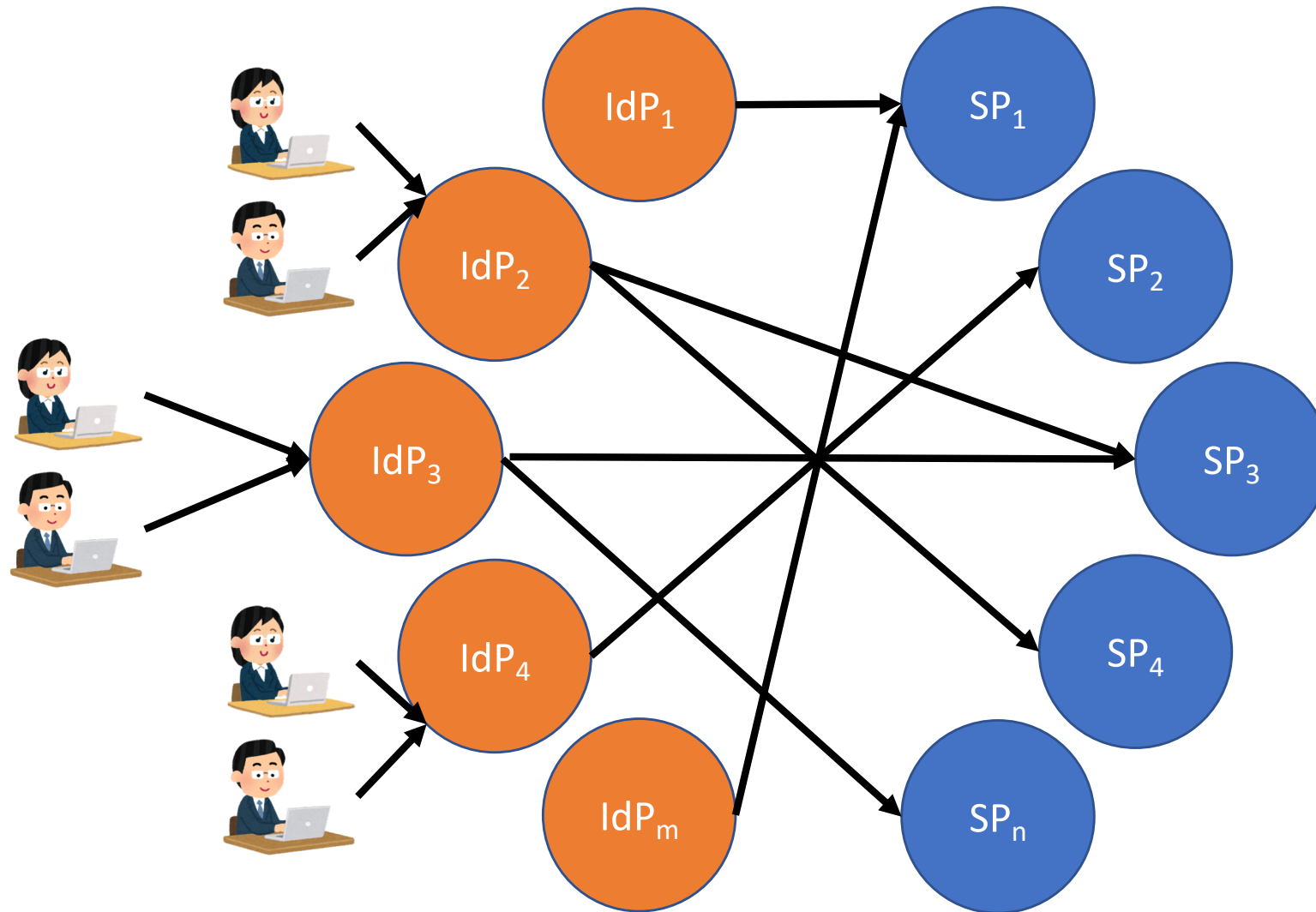


# 認証認可分離後



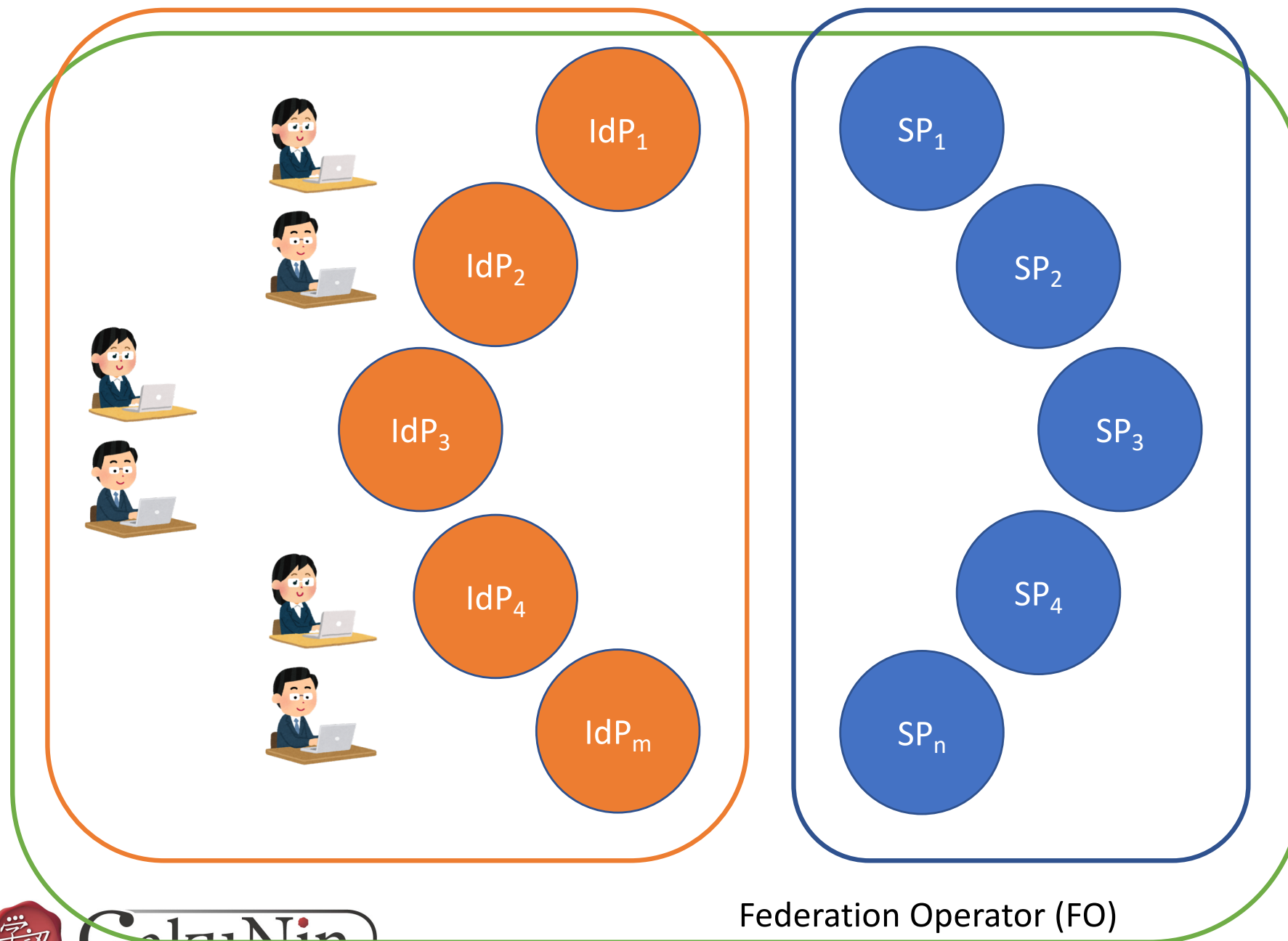
IdP: Identity Provider

# 多種多様・複雑さ



何を求めるべきか？ 何を為すべきか？

# 基本要件の明確化



Federation Operator (FO)



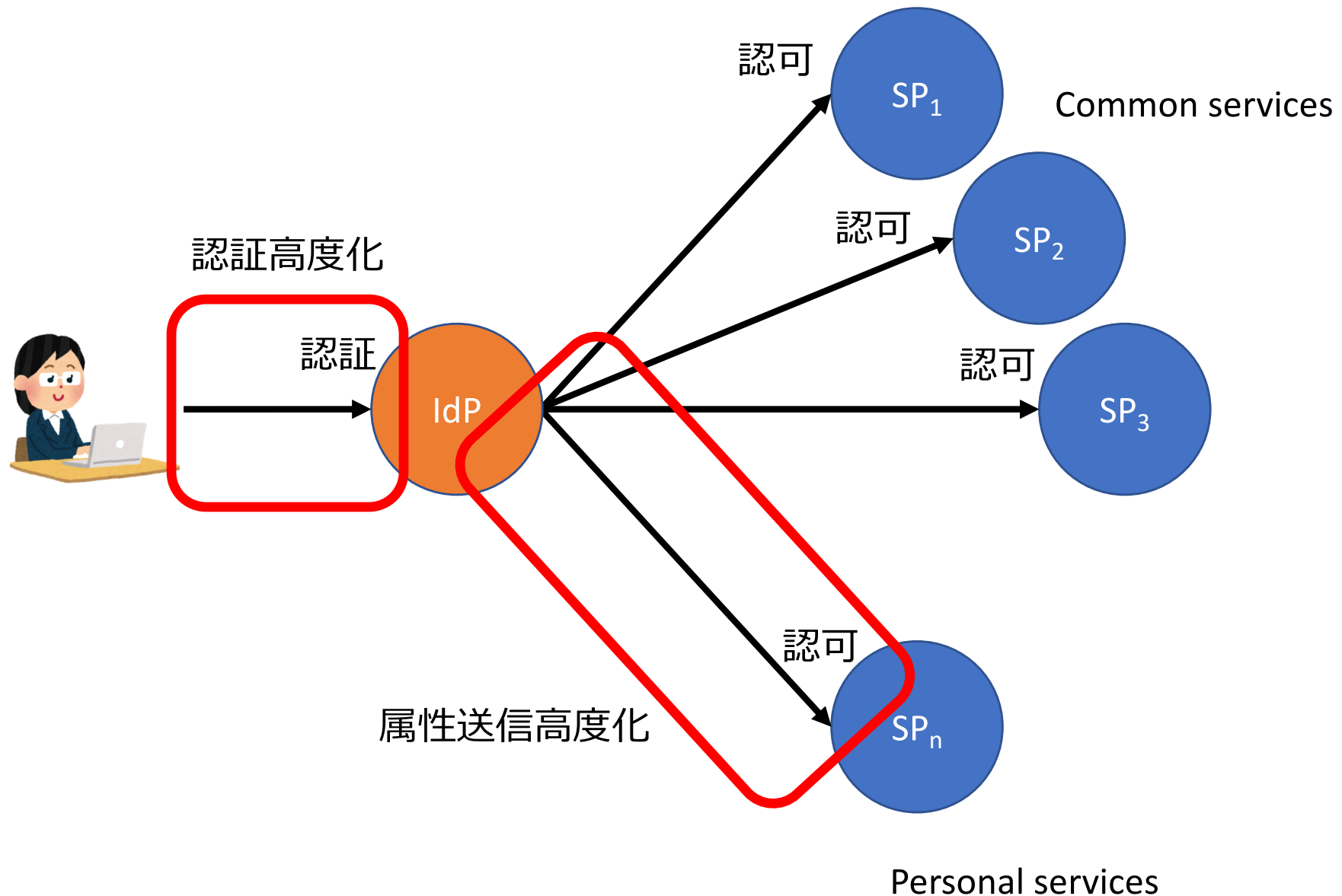
# 学認における信頼とは

- IdP の要件
  - 適切な認証情報の発行、セキュリティ担保、属性送信など
- SP の要件
  - プライバシ配慮、セキュリティ担保、必要最小限の属性要求など
- FO の要件
  - 運用規程の管理、技術支援、国際連携など
- それぞれの要件を遵守することにより、信頼関係が築き上げられる

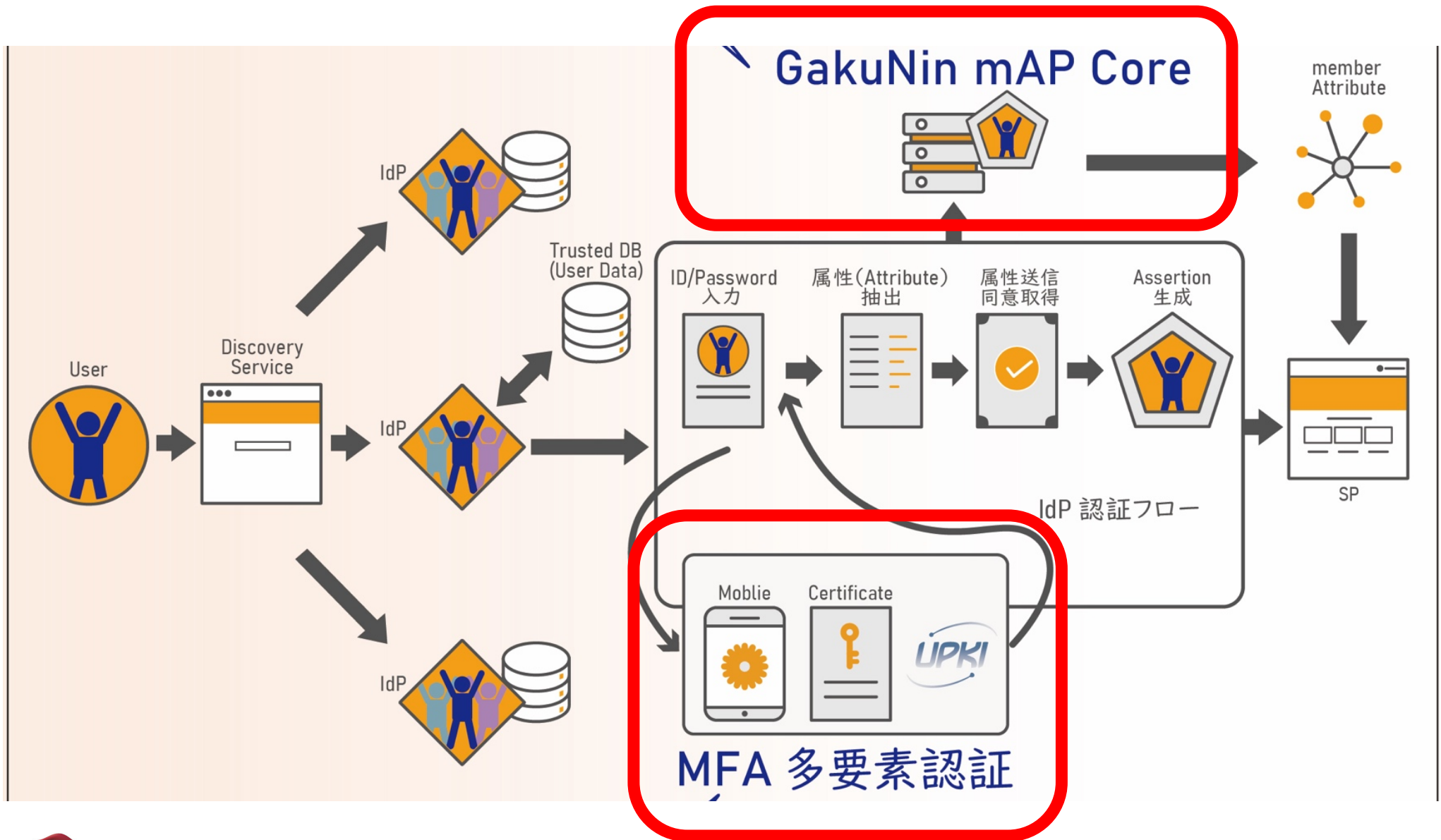
# 信頼を担保する取り組み

- インターフェデレーション連携強化
  - 国際的な学術 e-リソースへのアクセス需要
  - REFEDS (Research and Education FEDerations group)
    - Research and Scholarship (R&S)
    - SIRTFI – Security Incident Response Trust Framework for Federated Identity
    - Code of Conduct
    - Metadata Registration Practice Statement (MRPS)
- 可能な限り負担のかからないように取り込む

# より高度な学術基盤構築を目指して



# より高度な学術基盤構築を目指して



# 学認ブランドの展開

学認クラウド導入支援サービス

学認クラウドゲートウェイサービス

学認クラウドオンデマンド構築サービス

GakuNin RDM

学認 LMS

# まとめ

- 学術 e-リソースを利用する研究・教育活動の活性化を目的とする種々の組織の連合体
- それぞれの組織が自身の担う役割に応じた規程（ポリシー）を遵守することにより信頼関係が築き上げられる
- フェデレーションにとって信頼が重要
- 学術情報基盤におけるトラストフレームワークを保守しさらに発展させていくのが学認の使命
  - 国際連携強化を推進
- 引き続きご協力をお願いいたします